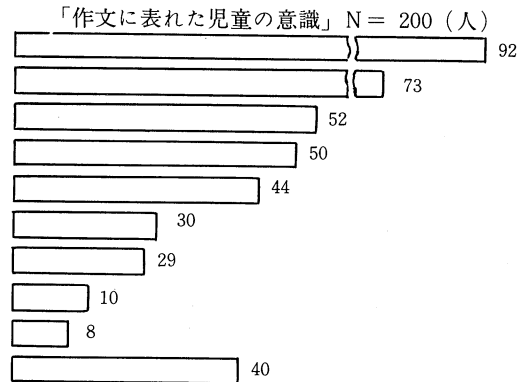




② 作文に表れた児童の意識
 少年自然の家には、研修を終えた数多くの児童・生徒からたくさんのお礼状と作文が寄せられている。その作文や礼状から二百通を無意図的に抽出し、児童が何に感動し、印象を心に深く残したのか、そういったことを探り出しながら、研修日程の中でどんな活動がふさわしいのか、もう一度、検討してみたい。

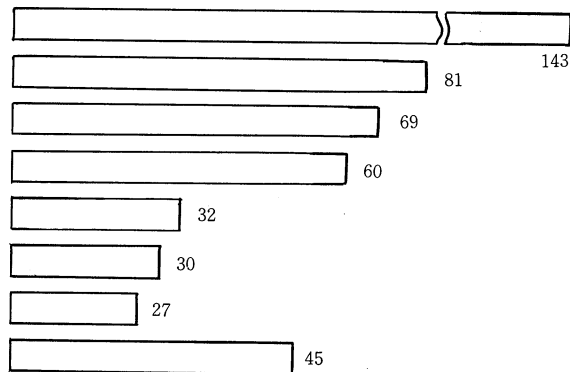
なお、次の図ではひとつの作文の中でいくつかにことについて触れているものは、それぞれの項にまたがってあげた。

思いやりを持つこと、助け合うことの意味
 5分前の行動と時間の大切さ
 集団生活でのルール大切さ
 オアシスの行動化・実践化
 友人のすばらしさ、見なおし
 整理整頓の習慣
 起床・就寝・歯みがきなどの習慣
 入浴の楽しさ
 よそへ行ったときの生活のし方
 そ の 他



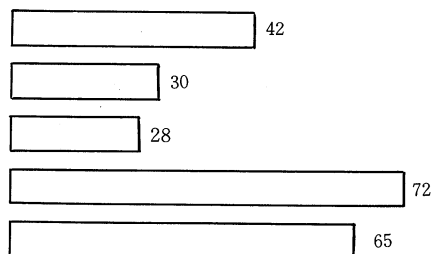
ア、集団宿泊生活から得たことについて述べてあるもの

友人との協力・助け合い・協同ということの意味
 友人のすばらしさ、見なおし
 思いやりのほんとうの意味
 技術の習得
 自然のすばらしさ、偉大さ
 体力への自信
 友人と活動することの楽しさ、喜び
 そ の 他



イ、研修時間での活動から得たことについて

先生の新しい面
 先生との生活について
 先生への感謝
 こんな人もいたのかという、所員に対する驚き、賛辞
 所員への感謝



ウ、引率指導者・所の職員についての感想